

科目ナンバリング		U-LAS03 10002 SB48										
授業科目名 <英訳>		外国文献研究（文・英）A-E1 Readings in Humanities and Social Sciences (Letters, English)A-E1					担当者所属 職名・氏名		文学研究科 講師 大竹 昌巳			
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)		外国文献研究			使用言語		日本語	
旧群	C群	単位数	2単位		週コマ数	1コマ		授業形態	演習（対面授業科目）			
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	火2			配当学年	2回生以上		対象学生	文系向	
【授業の概要・目的】												
この授業では、言語学の一分野である音韻論における20世紀後半以降の潮流を決定づけた、N・チョムスキー（Noam Chomsky, 1928 - ）とM・ハレ（Morris Halle, 1923 - 2018）による古典的著作The Sound Pattern of English（1968年出版）をテキストとして、その第3章を中心に講読する。本書は、実際に発音される音声形式を、仮定される基底形式に変形規則が順次適用されることで派生されるものとみる生成音韻論（generative phonology）の枠組みを提示したもので、第3章では英語の強勢（stress）の仕組みがその装置を用いて分析されている。この授業は、この章の講読を通じて、人文系の学問で必要となる英文の正確な読解力を身につけるとともに、英語がどのようなアクセント体系をもつ言語なのかを理解することを目的とする。												
【到達目標】												
・ 英語で書かれた人文系の学術的文章を正確に読解する能力を養う。 ・ 英語がどのようなアクセント体系をもつ言語であるかを理解する。												
【授業計画と内容】												
授業の進め方の詳細は第1回のガイダンスで説明する。授業ではテキストの章節に従って以下の内容を講読する予定であるが、進捗状況により変更の可能性はある。												
第1回 ガイダンス 第2回 イントロダクション 第3回 1. Introductory remarks 第4回 2. Stress placement in verbs a first approximation; 3. Stress placement in nouns a first approximation 第5回 4. Alternating Stress Rule; 5. Stress placement in adjectives 第6回 6. Derivational affixes; 7. Summary of stress placement rules 第7回 8. Nuclear stress; 9. Compounds 第8回 10. Complex verbs; 11. Nouns derived from verbs; 12. Revised version of the Main Stress Rule 第9回 13. Complex nouns and adjectives 第10回 14. Vowel reduction (1) 第11回 14. Vowel reduction (2) 第12回 15. Further investigation of derivational affixes (1) 第13回 15. Further investigation of derivational affixes (2) 第14回 16. Stress as a lexical category 第15回 フィードバック												
----- 外国文献研究（文・英）A-E1(2)へ続く -----												

外国文献研究（文・英）A-E1(2)

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

発表・質疑など授業への参加状況（40％）および期末試験（60％）により評価する。

【教科書】

Noam Chomsky & Morris Halle 『The Sound Pattern of English』（Harper & Row, 1968; MIT Press, 1991 reprint）（こちらで準備しますので各自で購入する必要はありません。）

【参考書等】

（参考書）
授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

当然ながら発表担当箇所以外の部分の内容も理解していなければ全体の理解ができないので、テキストに書かれている内容について、時には辞書で強勢の位置を調べたり、関連する文献を読んだりして、予習・復習をしっかりとすること。

【その他（オフィスアワー等）】

履修定員を45名とし、履修人数制限を行うため、履修を希望する者は履修人数制限科目申込期間にKULASISから申し込むこと。

なお、以下の条件順で抽選を実施し、履修を許可する。

- 1．文学部の4回生（所属系は問わない。）
- 2．文学部行動・環境文化学系の2・3回生
- 3．上記系以外の文学部2・3回生
- 4．文学部以外の学生